

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公開番号】特開2004-296136(P2004-296136A)

【公開日】平成16年10月21日(2004.10.21)

【年通号数】公開・登録公報2004-041

【出願番号】特願2003-83644(P2003-83644)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/14 (2006.01)

C 0 9 K 11/00 (2006.01)

C 0 9 K 11/08 (2006.01)

C 0 9 K 11/56 (2006.01)

C 0 9 K 11/64 (2006.01)

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

H 0 5 B 33/26 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/14 Z

C 0 9 K 11/00 F

C 0 9 K 11/08 J

C 0 9 K 11/56 C P C

C 0 9 K 11/64

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/26 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月20日(2006.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 第一の薄膜蛍光体層と第二の薄膜蛍光体層とを有する積層薄膜EL素子であって、

前記第一の薄膜蛍光体層は、次の組成式で表される蛍光体を有し、

$Zn_{1-x}Mg_xS : Mn_y$ ($0.01 < x < 0.8$, $0.1 < y < 1$ ここでyは全体の元素量に占めるyの元素比を示す。)

前記第二の薄膜蛍光体層は、青色発光材料を主成分とする薄膜蛍光体層であることを特徴とする積層薄膜EL素子。

【請求項2】 前記基板上に第一の電極層、厚膜誘電体層、第二の電極層をこの順に備え、前記厚膜誘電体層と前記第二の電極層との間に前記第一及び第二の薄膜蛍光体層を備えることを特徴とする請求項1記載の積層薄膜EL素子。